

2019年1月1日 初詣礼拝

司 会 倉知契副牧師

奏 楽

祈 禱 ①川田英夫兄 ②三畑元 長老

賛 美 聖歌584番「新しき地に踏みいだす」

(主にまかせよ、汝が身を)(愛と賛美み父に)

主の祈り

聖 書 マタイによる福音書4章1～11節 (P4)

音 楽 西田美栄子姉 (田中隆美姉)

メッセージ「敬天愛人」 大川従道牧師

賛 美 「むくいを望まで」(讚美歌536番・献金)

頌 栄 「ハレルヤ！」 アーメン

祝 禱

「イエス・キリストは、きのうも、
きょうも、いつまでも変わることはない。」
(ヘブル十三の八)

謹賀新年!

“いつも喜んでいなさい。たえず祈りなさい。すべてのことを感謝しなさい”
今年も恵みとあわれみと平和に過ごせますように、主の祝福をお祈り致します。

2019年元旦

主任牧師 大川従道・道子
牧会・伝道スタッフ一岡

【大和ニュース】

☆新年聖会は4日(金)19:00。ゲストは川端光生先生。送迎は18時20～50分。

牧師接手礼式は、森屋師、久保田師、佐々木師、小林師。伝道師は原田師。

・ 早天と水木の祈禱会は、お休みです。祝大は、マタイ1～5。創世記1～14。

石の枕

新年あけましておめでとうございます！今年もどうぞよろしく！

「苦しみにあったことは（卑しめられたのは）、わたしに良いことでした。これによってわたしはあなたのおきてを学ぶことができました。」（詩119の71）

『われわれは神から幸をうけるのだから、災をも、うけるべきではないか』すべてこの事においてヨブはそのくちびるをもって罪を犯さなかった。」（ヨブ記2の10）。

聖書の世界は深くて悟ることはむずかしいが、「真理の御霊」が来てくださると、その御言葉によるお取り扱い、スペシャルである。

年末に朝日新聞の「折々のことば」に、井上ひさし氏のことばが紹介されて懐しかった。この泉チャペルの献堂式記念講演を引き受けて下さった方である。

『作文の秘訣を一言でいえば、自分にしか書けないことを、だれにでもわかる文章で書くということだけなんです。』

自分がいちばん大事に思っていること、辛いこと、嬉しいことを書く。一人ひとり少しずつ違う「その違うところ」を平明に書く。いい文章はそのことで人の心を動かすと、作家井上ひさしは語る。彼は生前よく、「むずかしいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを面白く」とも語った。

*この言葉は、牧師にとってのモットーであるが、信徒の皆様にも申し上げたい。元旦で、心を新しくして、この一年「感謝日記」をつけてみませんか。思わぬ発見があります。ビックリするような真理に出会います。パウロが、病気の中で、それを甘んじて受け、「主の恵みは、弱さを通して、完全に現わされる」と告白し、「主の恵みは、私にとって充分であった」と言い切った。

友人と、家族と、「交換日記」をしたら、最高の恵みゲームとなります。感謝することは、神様を喜ばせるだけでなく、自分の人格、品性、信仰までも変化させる不思議な霊力を有している。

反対に、悪口や裁きやゆるしのない世界は、地獄の異象をまわりに拡散させることになる。今年も「ハレルヤ！主よ感謝します!!」を連発しましょう。